

山形六小 みんなの笑顔のために

『最悪を想定し』『慎重に』『素早く』『誠意を持って』『組織で』
「いじめ」に対応するための基本ステップ

詳細は山形市教育委員会『指導の指針』による

1 児童の気になる情報のキャッチ

◇『指導の指針』の
「学校でのいじめのサイン」
を参照する。

にんじん（問題の認識と迅速な対応）
ほうれんそう（報告・連絡・相談）

2 学年主任・教頭への報告

◇学年主任→教頭→校長
◇迅速に学年で情報を共有し報告

単独での判断と行動は厳禁
素早く報告し組織で対応

3 チーム会議①・・・聴き取りをする前に

◇情報の確認と持っている情報の共有
◇聴き取りの仕方とチーム編成
◇情報の集約の仕方

対応チーム
校長・教頭・生徒指導主任・
当該学年担任団・教育相談・
養護教諭

さしすせそ対応
さ 最悪を想定し
し 慎重に
す 素早く
せ 誠意を持って
そ 組織で

4 チーム会議②・・・事実の確認

◇事実関係が確定するまで、事実確認を繰
り返し、事実を集約する。

5 チーム会議③・・・対応方針の決定と指導体制の確立

◇対応方針の決定
◇指導体制の確立

◇必要に応じて外部機関との連携
◇重大事態の時は迅速に市教委へ報告
◇全職員への周知と共通理解

6 「いじめ」解決への指導・支援と経過観察

◇被害児童への対応と支援 ◇加害児童への指導と支援
◇保護者との連携 ◇周囲の児童への指導と支援

7 指導後の支援の継続と経過観察

解決していない場合は、「5」に戻り、対応を再検討する。

8 チーム会議④・・・いじめ解決の確認(3ヶ月経過時)